第76回“社会を明るくする運動”

高校生標語表彰式
受賞者の皆さま おめでとうございます！



10月12日(月･祝)、第76回“社会を明るくする運動”の一環として募集しました高校生標語の優秀作品表彰式が行われました。635名から応募があり、審査の結果、次の方々が入賞されました。おめでとうございます。

最優秀	大森　陽向	(麻生高校)	「あいさつは　心の扉　開ける鍵」
優　秀	西尾　優奈	(潮来高校)	「「助けて」を　言える社会に　みんなの手」
優　秀	坂井　　夢	(玉造工高)	「認めあおう　相手の個性　多様性」
優　良	芒﨑　豪瑠	(潮来高校)	「聞こえてる？　友の心の　SOS」
優　良	岩尾　大翔	(潮来高校)	「既読より　「大丈夫？」の　一言を」
優　良	志賀　塁斗	(麻生高校)	「声かけで　広がる安心　地域の輪」
優　良	栁町　一希	(麻生高校)	「その一声　非行を防ぐ　防犯ブザー」
優　良	原　隆之介	(玉造工高)	「見て見ぬを　やめて広がる　支え合い」

地域おこし協力隊通信
第88回



潮来の「食」を未来へつなぐ

はじめまして。10月に潮来市地域おこし協力隊に着任した近藤勇杜です。

現在は慶應義塾大学経済学部で学びながら、地域おこし協力隊として「食文化の継承」をテーマに活動しています。

これまで、福島県をはじめとするさまざまな地域を訪れ、地域づくりに関わる活動に参加してきました。その中で感じてきたのは、その土地ならではの「食」は、単においしいものというだけではなく、地域の歴史や暮らし、人と人とのつながりまで映し出す大切な文化だということです。潮来にも、昔から地域で親しまれてきた料理や食材、作り手の皆さんが持つ知恵や技術など、これから先へ残していきたい「食」がたくさんあると思います。

協力隊の活動として、まずは地域の皆さんのお話を聞き、自分自身が潮来の食について知るところから始めたいと考えています。そして、受け継がれてきた料理や食文化を記録するだけではなく、実際に食べてもらったり、作ってもらったり、新しい世代にも興味を持ってもらったりすることで、「残す」だけでなく「これからも続いていく」形を皆さんと一緒につくっていきたいです。

私自身、まだ潮来に来たばかりの一年生です。地域の行事やお店などにも積極的に足を運び、まずはたくさんの方と出会い、潮来のことを知っていきたいと思っています。「こんな料理があるよ」「昔はこんなものを食べていたよ」「この人に話を聞いてみたら？」など、食にまつわる情報がありましたら、ぜひ気軽に声をかけてください。

これから潮来の皆さんと一緒に、地域の食の魅力を見つけ、未来へつないでいけるよう活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

近藤　勇杜さん
(こんどう ゆうと)

■プロフィール

出身地:
東京都

趣味:
旅行･ドライブ